

新年のご挨拶

今年はこうありたい! 去年の好スタートを 活かそう!!

あいさつ



栃木県看護連盟会長
伊藤 正子

新しい年を迎え、会員の皆様おめでとうございます。

年度末を控え、退職者の数を気にかけてながら、毎日お忙しくご活躍のことと存じ上げます。今年の冬は東北・北陸地方では豪雪のため雪かきの作業中の事故が多発し、また霧島連山の新燃岳の噴石被害の為、人々のライフラインを混乱させております。栃木県は幸い風水害が少なく、尋常にご生活できることを感謝しながら、一日も早く沈静することを祈って止みません。

昨年は選挙の年でした。皆様方には大変お世話になり、ご活躍して頂きました。心から感謝申し上げます。「高階さんをどうしても当選させなければ」と必死で願う執念の年でもありました。選挙直前の支部長会では「絶対当選させること。絶対諦めないこと。」を誓い各支部長中心に全力投球していただきました。高階さんの上位当選は栃木県の総票6703名の皆様方の看護に対する深い愛情と執念の努力の証だと思われました。先日のサッカーアジア杯で優勝が決まった瞬間と高階さんの上位当選が決まった瞬間がダブって見えたほど喜びは大きなものでした。高階議員は「物事の始まりはすべて現場にあり」をモットーに阿部俊子議員と共に看護政策等に全力で取り組んでいらっしゃいます。私たちは去年のあの喜びを再び次回にも体験できますように尚いっそうのご支援を宜しくお願い申し上げます。

今年は、栃木県看護連盟創立50周年を迎える年でもあります。昭和34年に創立以来渡邊暎子現顧問をはじめ多くの諸先輩、会員の皆様に支えられて歩んで参ることが出来ました。看護協会のご配慮で看護研修センター内に事務局を置かせて頂いておりますことも感謝申し上げます。現在6800名を超える方々が入会して下さり、年々増加傾向にありますことも皆様方が看護連盟を大切に育て上げて下さいました賜物と思えます。私は会員の一人として誇りに思いますと共に現会長として深く感謝申し上げます。

6月18日(土)の記念式典には大勢の皆様方と一緒にお祝い出来ます事を楽しみにしております。今年もどうぞよろしくご支援とご協力をお願い申し上げます。

国民の大きな期待を担って発足したはずの民主党政権でしたが、一年もしないうちに総理大臣の交代。菅内閣になっても国内外共に難しい課題が積み重なっていくようで、残念ながら明るい展望の見出せない中での2011年のスタートでしたが、さすがに菅内閣も通常国会の審議を控えて、問題となっていた大臣の交代などを含めた内閣改造に踏み切りました。注目の与謝野大臣の起用で党内の亀裂もあるようですが、小沢代議士の件も含めて、党内のことはどうぞお静かに願っておきましょう。

そんな中でも高齢化はどんどん進み、老後の安心・安全政策はわが国の最重要課題になっています。施設から在宅へと医療政策は大きくシフトし、医療依存度の高い人々でも住みなれた地域でできるだけ長く生活し、安らかな最期を迎えられるよう、訪問看護サービスや看取りのケアなど在宅看護の充実が急がれます。高齢社会対策の力を握るのは看護職といっても決していいすぎではありません。

日本看護連盟は、たくさんの政治課題を看護の立場から検討し、提案してゆけるよう、国政の場、地方行政の場に看護職を送り込む仕事を続けて参ります。そのために今年まずは支部活動の活性化を図り、昨年の高階選挙で獲得した以上の票を獲得できるような組織にするべく、運動を展開してまいります。

新年のご挨拶



日本看護連盟会長
清水 嘉与子